

I. 調査結果概要

調査・各項目のデータは、加盟組合が記載したものを掲載しています。回収数、組織・地域のアンバランスなどがありますが、比較データとしてご活用頂き、賃金・労働条件改善の一助になればと思います。(数値の単位は「円」です。)

1. 平均賃金

全体の平均賃金（基本給、所定内賃金）は、下記（１）のとおりです。平均勤続年数は、「正職員」10.2年、「医師除く」11.3年です。また、平均年齢は「正職員」が39.6歳、「医師除く」が39.0歳です。同一組合の平均賃金の比較（２）（３）では、同一組合の対象数にばらつきがあるため、参考数字としての扱いとなります。

（１）全体平均

	<正職員>		<医師除く正職員>	
	17春闘確定前	17春闘確定後	17春闘確定前	17春闘確定後
基本給	282,794	279,178	262,375	259,544
所定内	320,817	321,877	289,883	286,625

（２）同一組合平均の比較（正職員）

	基本給（41組合）	所定内（30組合）
17春闘確定後	280,202	324,634
17春闘確定前	278,757	320,563
差	1,445	4,071

（３）同一組合平均の比較（医師除く正職員）

	基本給（54組合）	所定内（29組合）
17春闘確定後	260,576	289,048
17春闘確定前	261,254	286,399
差	-678	2,649

2. モデル・ポイント賃金

モデル・ポイント賃金の平均は、下記の一覧表（1）です。薬剤師（4年）をなくし、助産師を追加しました。また昨年まで「ヘルパー」と呼称していたものを「初任者研修・ヘルパー2級」に改めました。全体的にはほぼ前年並みです。50歳から59歳の伸びは概ね5～6%です。「低い初任給」と「ねたきり賃金」になっています。

（1）モデル・ポイント賃金の平均

	初任給	35歳	50歳	59歳
医師	318,195	526,835	718,974	772,756
薬剤師（6卒）	220,552	293,535	377,662	399,822
助産師	205,979	286,783	369,705	390,709
看護師	200,371	278,308	355,776	374,085
准看護師	175,456	257,052	326,880	342,985
看護補助者・助手	155,284	239,694	300,374	318,645
放射線技師	189,797	276,282	360,347	382,811
臨床検査技師	187,598	273,983	357,435	374,090
理学療法士	191,285	275,311	352,893	373,448
作業療法士	191,842	274,015	351,485	373,244
臨床工学技士	187,475	274,466	355,935	375,769
言語聴覚士	190,850	274,596	352,319	373,674
臨床心理士	196,222	269,223	351,023	371,105
歯科衛生士	176,662	259,407	329,918	347,734
歯科技工士	176,637	268,843	344,583	362,914
管理栄養士	186,619	266,235	342,415	362,927
栄養士	174,682	261,247	335,719	356,378
調理師	159,204	246,346	310,817	334,211
保育士	169,916	256,493	321,933	337,925
介護福祉士	164,722	241,791	302,590	318,919
初任者研修・ヘルパー2級	156,344	229,969	284,194	298,885
大卒事務	181,322	257,879	336,230	353,537
高卒事務	156,876	249,903	321,991	340,363
労務	151,171	239,910	299,703	314,579

(2) 同一組合による看護師・介護福祉士の前年度平均との比較

介護福祉士・看護師・高卒事務で比較を行っています。介護福祉士については、「初任給」で前年比+333円、「35歳」で+365円、「50歳」で-439円、「59歳」で-794円となっています。

看護師については「初任給」で+453円、「35歳」で+298円、「50歳給」で-509円、「59歳」で+167円となっています。

高卒事務についても、「初任給」は363円、「35歳」で286円、「50歳」で551円上がったものの、「59歳」は-825円となっています。

介護福祉士		初任給	35歳	50歳	59歳
2016年度	全体平均	164,886	243,001	305,095	321,579
2017年度	全体平均	165,219	243,366	304,656	320,786
前年差		333	365	-439	-794

看護師		初任給	35歳	50歳	59歳
2016年度	全体平均	199,952	279,576	358,049	376,100
2017年度	全体平均	200,405	279,874	357,540	376,268
前年差		453	298	-509	167

高卒事務		初任給	35歳	50歳	59歳
2016年度	全体平均	156,691	250,409	322,543	341,793
2017年度	全体平均	157,054	250,695	323,094	340,968
前年差		363	286	551	-825

3. 最賃協定額

最賃協定額の平均は、下記(1)のとおりです。月額を見ると「看護師」を除く職種で昨年調査より上がっています。「看護師」については、時間額で若干上がりましたが月額、日額は昨年よりも下がりました。「誰でも」の時間額は7円上がり883円となりましたが、17年地域最賃の全国平均848円と近似しています。

最賃協定額の「最高」と「最小」の差は引き続き大きく、看護師月額の格差は約8万円、時間額でも950円もの格差があります。

(1) 最賃協定額の平均

	月額	日額	時間額
看護師	196,972	8,964	1,216
准看護師	166,386	7,829	1,070
初任者研修・ヘルパー 2 級	153,246	6,925	926
誰でも	151,058	6,515	883

(2) 最賃協定額の最高と最低の差 (看護師・誰でもの場合)

看護師	月額	日額	時間額
最高	230,000	10,992	1,800
最小	150,500	7,336	850
差	79,500	3,656	950

誰でも	月額	日額	時間額
最高	180,000	8,280	1,096
最小	125,500	5,400	720
差	74,500	2,880	376

4. パートの賃金

パートの時間額平均は、以下の通りです。地域や病院性格別の差が大きく、「最高」と「最小」では2倍を超える格差となっている職種が多くみられます。看護師では3倍近い格差です。一時金の支給基準については、「経験で支給」「正職員と別基準」が圧倒的になっています。

	看護師	准看護師	事務部門	給食部門	介護福祉士	初任者研修・ヘルパー 2 級
平均	1,269	1,139	911	932	965	937
最高	2,400	2,000	1,455	1,646	1,530	1,300
中位	1,238	1,120	877	878	960	910
最小	850	800	730	770	750	750

5. 退職金

(1) 算定基礎 「集計表」を参照下さい。

(2) 退職金支給開始時期と支給月数

支給開始時期は平均で就職後 2.9 年、支給月数は 2.2 か月でした。

(3) 退職金支給月数

定年年齢に一番近い「40 年」で見ると、「希望（自己）退職」で平均 45.7 ヶ月、「定年退職」で平均 47.7 ヶ月です。全体の最高 65.0 ヶ月、中位でも 49.6 ヶ月、最小 8.0 ヶ月で、組合間格差がかなりあります。

(4) モデル退職金

看護師のモデル退職金は下記のとおりです。支給額の最高と最小では大きな格差があり、病院性格別では、公的地場や自治体が高く、民医連生協や福祉が低い実態です。

	月数	支給額
平均	48.1	17,780,622
最高	65.0	27,615,475
中位	49.2	17,584,895
最小	30.0	3,139,000

*月数と支給額はリンクしていません

(5) パート・非常勤職員の退職金制度

制度が「ある」と答えたのは 16 組合でした。

以下については、集計表をご覧ください。

6. 中途採用者の前歴加算

7. 早出手当

8. 遅出手当

9. 待機・呼出し手当

10. 夜勤手当

11. 家族手当・住宅手当

12. 各種手当、年間一時金

13. 年間総労働時間

1日の労働時間では拘束8時間30分、実働7時間33分、休憩59分となりました。また1週間の労働時間の平均は拘束43時間22分、実労働38時間38分です。年間総労働時間の平均は1892時間23分で、昨年よりも約23時間増えています。最も長い年間総労働時間は2163時間（昨年2163時間）でした。性格別では軒並み1800時間を超えています。

14. 36協定、夜勤協定

時間外協定（36条協定）が「ある」が89.4%、「ない」が5.3%、無回答が5.3%でした。「ある」と答えたうちの特別条項の有無については、「ある」が43.2%、「ない」が47.5%となっています。特別条項の内容では、1か月の上限で最長時間は、「医師」が155時間、「看護師」「事務」が120時間でした。

夜勤協定は、132組合中77組合で協定があり、協定がないのは42組合でした。

以下についても、集計表をご覧ください。

15. 年間休日

16. 週休の形態

「完全週休2日制」30.1%で昨年と比べ2ポイント上昇しました。逆に「4週8休制」24.3%と昨年比で3.5ポイント下がりました。

17. リフレッシュ休暇

18. 賃金・労働条件の改悪の動きについて

（1）職能給・成果主義賃金について（カッコ内は前年値）

回答のあった142組合中、「導入の動きはない」が98組合69.0%（62.3%）、「提案されている」「動きがある」13組合9.1%（10.0%）、「以前から導入されている」22組合15.5%（18.5%）となっています。「この1年間に導入された」も6組合6.3%（9.2%）となっています。

（2）退職金の切り下げなどの動向（カッコ内は前年値）

回答のあった136組合中、「動きはない」94組合69.1%（65.6%）、「動きがある」14組合10.3%（5.6%）と昨年から倍となりました。「現在提案されてい

る」5組合3.7%(5.6%)、「この1年に実施」「1年以前に実施」23組合16.9%(23.2%)となっています。切下げの動きが強まっています。

19. 安全・衛生委員会の実態

(1) 安全衛生委員会の設置については、「ある」が146組合中130組合89.0%(前年89.8%)となり、ほぼ横ばいです。

(2) 委員会の構成については「労使ほぼ同数」が128組合中98組合76.6%(80.3%)、委員会の開催は「月1回定期的」が119組合中102組合85.7%(80.0%)となっています。

(3) メンタルヘルス対策について「委員会で論議している」が126組合中109組合86.5%(92.4%)で、昨年よりも減っています。

20. ストレスチェック

ストレスチェックは122組合中98組合80.3%(53.3%)で実施されています。

高ストレスとの診断を受けた人のいる組合は28組合14.8%ありました。実施結果を委員会で審議したのは半数にも満たない(45.6%)状況です。

以上